

会 議 速 報

令和3年10月14日

件 名	令和3年度第2回鹿児島市船舶事業経営審議会	作成課	船舶局総務課
日 時	令和3年10月7日(木) 10:00~11:30		
場 所	桜島港フェリーターミナル1階 多目的ホール		
出席者	経営審議会委員7名		
市出席者	船舶局長、次長、営業課長、船舶運航課長、安全運航推進室長、関係職員		
協議・報告等	事務局報告 (1) 第1回審議会資料に係る質問等について 協議事項 (1) 第2期船舶事業経営計画(素案)について		
主な意見等	<p>事務局報告</p> <p>(1) 第1回審議会資料に係る質問等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の厳しい状況の中で、働く人の意見等も反映し、労使間で協議しながら事業を進めていくことが収支改善などに繋がっていた。適宜協議等は実施するようにしてほしい。 ⇒第2期経営計画はワーキンググループを立ち上げ、職員の意見を交えながら策定を進めている。また、労使間のことについても、必要に応じて協議を行うこととしている。 ・赤字が大きくなっていることから、少しずつでも削減に取り組むため、朝夕の便数を維持しつつ、昼の便数を削減するなど、努めていくべき。 <p>協議事項</p> <p>(1) 第2期船舶事業経営計画(素案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支シミュレーションはどうなっているのか。 ⇒現在、精査中であり、次回審議会(11月中旬~下旬)で提示する。 ・今後、劇的収入増による経営改善は見込めないが、今後の船舶事業の経営方針は、増収・経費削減のどちらに比重を置くのか。 ⇒大胆な経費削減を実施することで、経営改善を図る必要があると考えている。 ・桜島フェリーはいつでも乗れるという点で差別化していることもあり、そこは維持してほしい。 ・運航ダイヤの減便は、利用者が少なくなり、負のスパイラルに陥る。しかし、現状ではそのようなことは言ってもらえない。現在の5隻から船舶を減らし、運航ダイヤの減便についても費用対効果をみながら、収入の減より経費削減の効果が大きくなるポイントを見つけられるのであれば、ぜひ取り組んでいただきたい。 ・人件費の削減にも取り組んでいかないといけない。 ⇒適正な定数管理を行い、人件費の抑制に努める。また、給与の水準も適正化を図る必要があると考えている。 ・どのような目的(レジャー・生活航路・ビジネスなど)で利用されているのか分析してほしい。 ・SDGsを計画に取り入れたことはよいことである。 		